

1面の続き

(7) 裏山の自然や散策路の整備、維持管理、及び健康寿命の延伸を図る健康新くりと環境美化を兼ねた散策活動の活性化に務める。

(8) 深谷貯水池を周囲に桜木の植樹、水にふれる公園として有効活用できるようにする。

(9) 宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報の定期的に行うように要望する。

(10) 空き家の放置、環境悪化が問題となつた際に単位自治会から市に連絡し、有者に草刈り等の連絡調整をしてもらう。

(2) ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり



(11) 小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民へ開放し、スポーツ活動・コミュニケーション活動の活性化を図る。

(12) スポーツ行政を推進する立場から「小学校体育施設開放事業」の運用強化を図り、住民ボランティアによる逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。

(13) 「宝塚市コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を設置し、学校、保護者、地域が一体となつた子どもの教育に関わっていく。

(14) 地域のコミュニケーション活動の中心となる「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するために、周辺の環境条件の充実、例えば、車利用者への対応や出入り口等の整備について現状や課題等の把握・検討を行う。

(15) 逆小正門から100m下るバリケードの間を、道路指定から学校敷地へ用途変更し、逆小脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用することについて、引き続き行政に働きかける。

(16) 高齢者の福祉と買い物対策として、新たな交通手段を検討する。（P4参照）

(17) 自治会が管理運営する自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して顔見知りの関係をつくる。

(18) 地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵



逆小 正門下の水路側溝

(3) 安全・安心・便利なまちづくり

(26) 县道明石神戸宝塚線の騒音対策（速度制限や看板の設置、警察官の配置など）について、現状や課題等の把握・検討を行って行政に働きかける。

(27) 逆瀬台の住宅地内にあるバス通りで、警察と連携のもと、スピード制限を遵守するよう、安全対策、騒音防止活動を行う。

(28) 逆瀬台丁目のファミリーマートと逆瀬川マンションに隣接する道路の角地の安全対策について、現状や課題等の把握・検討を行って行政に働きかける。

(29) 逆瀬台1丁目の若瀬橋付近において、児童の安全対策を実施する。

(30) 青葉台の①蔵人台共同墓地及び②市営西山靈園への車を利用しての墓参者の対応について、園の公開、オープンガーデン、趣味の作品展など）を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。



ファミマ横のL字急カーブ

(4) 美しい、緑と街並みを培うまちづくり

(35) コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然であり、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランタリーな管理活動の推進を図る。

(36) 县道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路灯設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりについて、行政に働きかける。

(37) 逆瀬台3丁目から6丁目まで整備された紅白のサルスベリの街路樹について水やりや手入れを継続する。

(38) 逆瀬台1丁目から白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近について、まちの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路灯の設置について、行政に働きかける。

(39) 县道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。

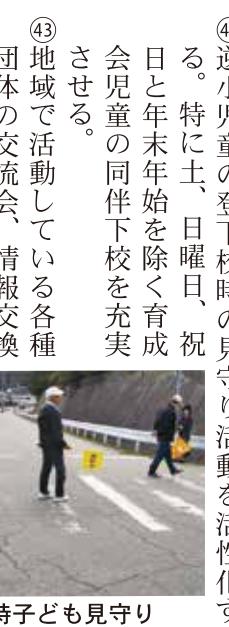


作品展の様子

(46) 地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。

(47) 他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。

(48) ミミズクボスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。



下校時子ども見守り

検討を行う。

(31) 逆瀬台5丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路の安全対策について行政に働きかける。

(32) 路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自でのパトロール等に取り組む。

(33) 阪急バス・逆瀬台センター行きの路線でバス停の間隔が長く、高齢者の行動圏拡大のためにも、逆瀬台1丁目と逆瀬台5丁目の中間地点に新しいバス停の設置を要望する。

(34) 县道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、県道明石神戸宝塚線（白瀬川橋西詰から諭鶴羽橋北詰までの区間）の安全性確保、事業化の推進について、行政に働きかける。

(35) 逆瀬台1丁目から3車線にして、右左折レーンの完全整備を行いう。

(36) 南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置する。

(37) 歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とする現在2カ所あるバス停に充分なポケットを設置する。

(38) 县道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路灯設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりについて、行政に働きかける。

(39) 逆瀬台3丁目から6丁目まで整備された紅白のサルスベリの街路樹について水やりや手入れを継続する。

(40) 小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。

(41) 積極的に声をかけ合う「あいさつ運動」を実施する。

(42) 逆小児童の登下校時の見守り活動を活性化する。特に土、日曜日、祝日と年末年始を除く育成会児童の同伴下校を充実させる。

(43) 地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。（福祉ネットワーク会議等）（P3参照）

(44) 地域内の様々な才能をもつた住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展示・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。

(45) 地域内の様々な才能をもつた住民を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。



白瀬川のホタルを増やす活動

(5) まちづくりにつながるひとづくり

〔ご意見は、1月20日迄に、

石谷FAX0797-205054までお願いします。〕